

令和6(2024)年度 次世代型医療福祉機器開発促進事業 第2回拡大連携促進セミナー

県及びとちぎ医療福祉機器産業振興協議会では、県内ものづくり企業、医療福祉系大学、工学系研究機関等の連携による未来3技術（AI・IoT・ロボット、光学、環境・新素材）等を活用した次世代型医療福祉機器の創出に向けた機運醸成を図るため、拡大連携促進セミナーを開催いたします。先進的な取組を行う事業者から取組内容を紹介いただきますので、是非御参加ください。

日時 令和7(2025)年2月19日(水) 10:00～12:00

開催方法 オンライン

対象 とちぎ医療福祉機器産業振興協議会会員
とちぎ未来技術フォーラム会員 等

**参加費
無料!!**

申込方法 ①申込みフォームからの申込み ②メールでの申込み
※詳細は裏面へ

申込締切 2月14日(金)

第1部 10:05～10:55

平面リンク機構を用いた脚部動作の補助
～アクチュエータに頼らないツールとしてのメカ～

山形大学大学院 理工学研究科 機械システム工学専攻 准教授 南後 淳 氏

第2部 11:00～11:50

非接触方式によるウェアラブルレス生体信号計測

東北大学 サイバーサイエンスセンター
大学院工学研究科/医工学研究科 教授 杉田 典大 氏

ファシリテーター

株式会社日本医工研究所 代表取締役
一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ 副理事長 柏野 聡彦 氏

【主催】 栃木県、とちぎ医療福祉機器産業振興協議会

講演者紹介

南後 淳 氏

山形大学大学院 理工学研究科 機械システム工学専攻 准教授。
平面及び空間リンク機構の解析・設計を専門とし、主に平面リンク機構を応用し、装着型の歩行補助装置や、立ち上がり補助装置などの、脚部に負担の大きい動作を補助する装置の他、スポーツ関連機器としてアスリート用のリハビリ装置やサッカーのキック動作再現装置などの設計・製作を行う。モータ等の外部からの動力源を必要とせず、使用者の補助をしながらリハビリテーションに有効な装置の開発を目指す。



杉田 典大 氏

東北大学 サイバーサイエンスセンター
大学院工学研究科/医工学研究科 教授。
生体情報処理などを専門とし、高齢化や過疎化などによって生じる医療の問題に対応した医療・福祉システムのデジタルトランスフォーメーションに関する研究を行う。生体情報を完全非接触で取得するウェアラブルレス生体計測技術や、仮想空間を用いたリハビリテーションシステムなどの研究・開発を進めている。



申込方法

申込締切

2月14日(金)

- ①申込みフォーム（Microsoft Forms）からの申込み
以下URLからお申込みください。（右のQRコードからもアクセスできます）
URL：<https://forms.office.com/r/VQS4nRU60H>
- ②メールでの申込み
下記の必要事項を記入の上、
E-mail（iryofukushikiki@pref.tochigi.lg.jp）宛てお申込みください。



令和7(2025)年2月19日開催 第2回拡大連携促進セミナー申込必要事項

企業・団体名		
所在地		
申込者	【所属・役職・氏名】 ・	【E-mail】 ・
聴講希望者	【所属・役職・氏名】 ・ ・	【E-mail】 ・ ・
事前質問	※事前に質問事項がございましたら記載ください。	

※開催日2日前までに、申込者宛てミーティングURL等をお知らせします。

■申込・問合せ先

栃木県産業労働観光部工業振興課 ものづくり企業支援室（とちぎ医療福祉機器産業振興協議会事務局）
担当 内藤・清水 E-mail：iryofukushikiki@pref.tochigi.lg.jp TEL：028-623-3249